

2026年度 中部支部通常総会

2026年6月10日(水)

- 通常総会：15:00～16:00
- 講演会：16:10～17:30
- 会員パーティー：17:45～19:15

- 開会の辞
- 支部長挨拶
- 新支部長挨拶
- 来賓挨拶
- 議長選出
- 議案*
- 支部事業活動 功労者・功労団体の表彰
- フェロー称号の授与
- 閉会の辞

*議案

1. 2025年度 支部事業報告
2. 2025年度 支部会計決算報告
3. 2025年度 支部事業および会計監査報告
4. 2026年度 支部役員
5. 2026年度 支部方針および事業計画
6. 2026年度 支部予算

1. 2025年度 支部事業報告
2. 2025年度 支部会計決算報告
3. 2025年度 支部事業および会計監査報告
4. 2026年度 支部役員
5. 2026年度 支部方針および事業計画
6. 2026年度 支部予算

1. 概要

2. 2025年度詳細

(1) 会員数推移

(2) 役員会

(3) 支部事業*

資料（巻末に掲載）

（別紙1）会員状況報告

（別紙2）2025年度 支部役員会実施報告

（別紙3）2025年度 中部支部事業実績

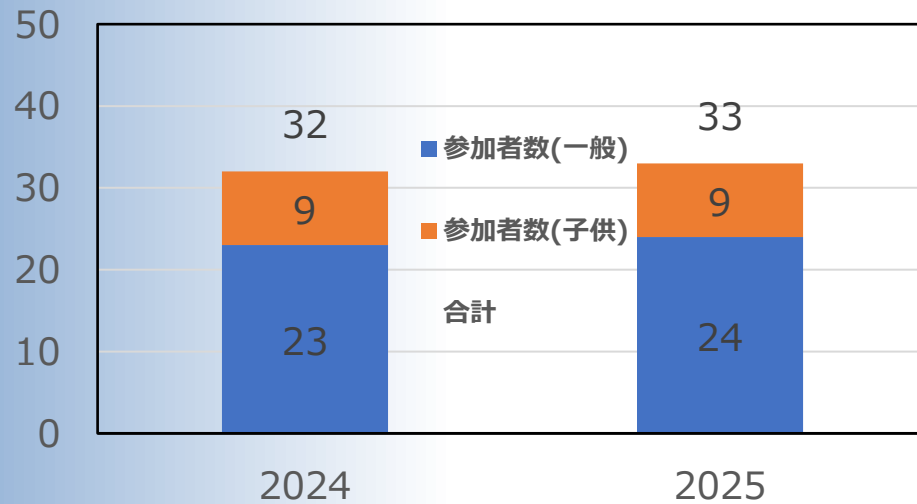
(3) 支部事業*

- ① 見学会
- ② 技術講習会
- ③ 総会講演会
- ④ 技術交流会
- ⑤ 研究発表会
- ⑥ 体験型講習会
- ⑦ 技術者懇談会
- ⑧ 支部報
- ⑨ 学生自動車研究会
- ⑩ 社会貢献
- ⑪ 新技術領域への取組
- ⑫ 協賛ほか

1. 概要 -2024年度比較-

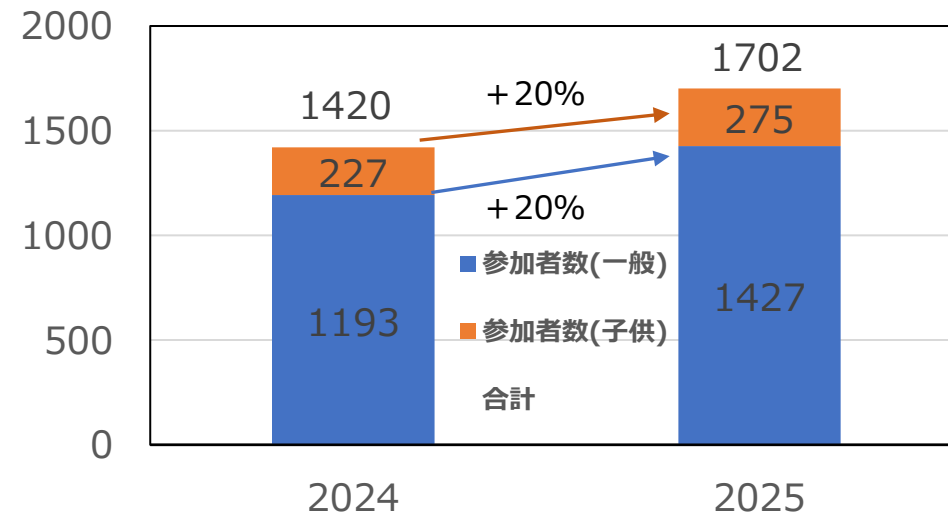
(1) 全体概要(中部支部主催イベント)

イベント数



- イベント数は+1
・技術講習会+1 (オンライン開催を併催)
(見学会は当初予定▲2だが2024年度も同様)

イベント参加者数

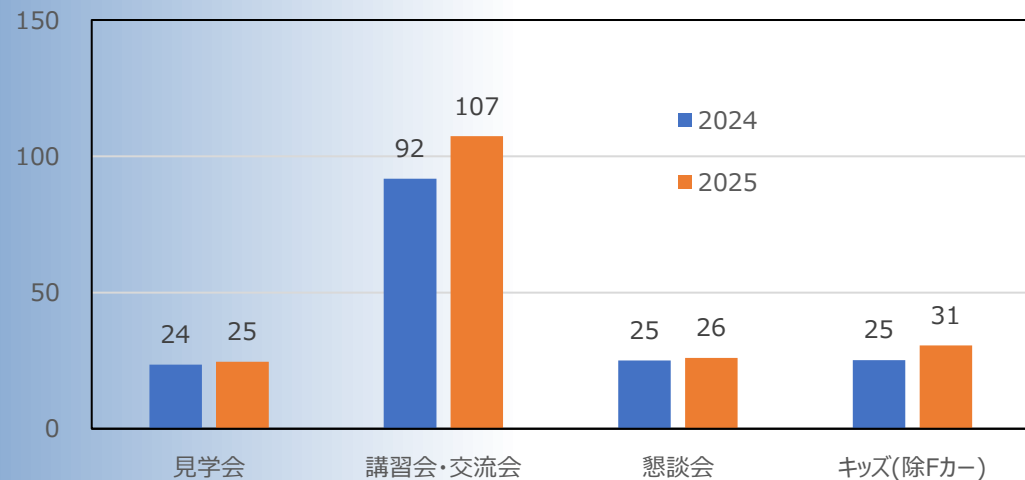


- 参加者数は+282
・講習会は+1回開催で約200人増
・社会貢献はキッズエンジニア対応で約50人増
・一般+234
・子供+48

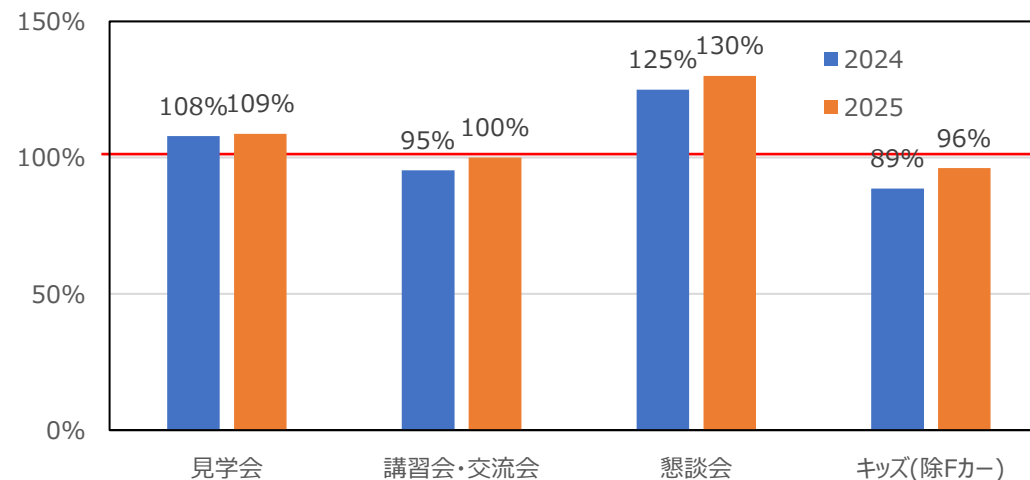
総参加者数は2024年度以降増加傾向に

(2) 個別イベント概要

平均参加者数



対募集比 (参加者数/募集数)



- ・どのイベントも平均参加者数は増加傾向
- ・募集数に対しても改善され、企画、広報の効果が出ている



より良い企画を行い、多くの方が「参加したい」と思うイベントを開催していく必要あり

(1) 会員数推移 [詳細は別紙1(P1~4)参照]

【2025年度末】

20,934名で、761名の増。（参考：2023年度は812名減少，2024年度は157名減少）

入会キャンペーン（本部主催，39歳以下対象）効果で、**1819人 入会**（正会員1528，学生会員291）。

一方、一般的に退会者数が入会者数を上回る傾向は不可避。（定年退会による）

【2026年度対応】

入会キャンペーンは継続のため、各社の入会斡旋を期待。（期間：2026年2月21日～2026年2月20日）

また支部独自でキャンペーン入会者向け特典イベントを企画（見学会、技術講習会、体験型講習会など）。

(2) 役員会 [詳細は別紙2(P5)参照]

- ・合同役員会：4回（リアル3回、オンライン1回）
- ・担当幹事会：4回（リアル開催）
- ・通常総会：1回（リアル開催）

(3) 支部事業

以下、各支部事業について総括。

2025年度実績一覧は別紙3(P6)を参照

- ①見学会
- ②技術講習会
- ③総会講演会
- ④技術交流会
- ⑤研究発表会
- ⑥体験型講習会
- ⑦技術者懇談会
- ⑧支部報
- ⑨学生自動車研究会
- ⑩社会貢献
- ⑪新技術領域への取組
- ⑫協賛他

2025年度の活動狙い

- 工場見学及び講演を通して、技術情報や技術動向を現地現物で提供。13回/年 開催。
- 自動車業界のみならず、異業種やCASE/MaaS/IoT等先進技術領域の見学先も織り込む。

※赤文字：中止(台風、先方都合)

回数	開催月	見学先	分野	参加者数	回数	開催月	見学先	分野	参加者数
①	4月	ユニバンス 本社工場	自動車部品	24	⑦	10月	ダイハツ工業 京都工場	車体・エンジン	28
②	5月	ヤマハ発動機 本社工場	車体・エンジン	26	⑧	11月	オモビオ 浜北工場	自動車部品	20
③	6月	三五 八和田山工場	自動車部品	29	⑨	11月	ダイフク 滋賀事業所	異業種	19
④	7月	CKD 本社・小牧工場	産業機械	20	⑩	12月	トヨタ車体 吉原工場	車体・エンジン	27
⑤	8月	知の拠点 あいち	研究所	24	⑪	12月	ポツシ 東松山工場	自動車部品	—
⑥	9月	エア・ウォーター 地球の恵みファーム	異業種	—	⑫	1月	AGC 愛知工場	自動車部品	26
					⑬	2月	日本製鉄 名古屋製鉄所	材料	27

2025年度の振り返り

合計250名

- イベント告知では見学内容が視覚的に伝わる写真バナーを活用し
平均参加率108%となり、参加率向上につながった
- 入会キャンペーン/入会サポート対象者優先枠拡大見学会も開催し、
新規加入の促進につなげた
- 人とくるまのテクノロジー展（横浜・名古屋）において
企業様へ見学依頼を実施した結果、6社様より内諾をいただき、見学先を早期に確定することができた
- 高校生向け、家族向け見学会も試行し好評であったので2026年度も継続開催を検討する



開催回	開催日	メインテーマ	会場/Web	目標	結果
第1回	4月18日	『安全で魅力的なクルマづくり』	アクトシティ浜松	120名	109名
第2回	7月21日～ 8月8日	「グリーンテクノロジーが拓く未来の道」	オンデマンド	120名	245名
第3回	9月19日	『次世代燃料と技術革新で進化するモビリティ～まだまだ熱い燃焼技術！多様なパワーソースが拓く可能性～』	刈谷市産業振興センター	150名	101名
	10月6日～ 10月24日		オンデマンド	150名	215名
第4回	10月23日	『市場を進化させるクルマたち』	三島市民文化会館	120名	127名
第5回	11月24日	『エンジニアの革新力：次世代のモビリティ社会を支える技術』	ポートメッセなごや (ITSワールド共催)	300名	88名



2025年度の振り返り

- ・第3回技術講習会は試行として、現地開催と合わせて、後日オンデマンド開催を実施。今後の運営方法の参考とした。

2026年度に向けて

- ①他支部の方や出張の時間や手間の省略で多くの参加者が見込めるオンデマンド開催を3回実施予定
- ②オンデマンドでも会場開催と同等の嬉しさを提供するために企画段階で以下を検討したい
 - ・収録を同日に行えるようにして、講師同士のネットワーキングの機会を提供する
 - ・質問を受け付ける機会を設け会員の満足度向上につなげる

カーボンニュートラル実現に向けた次世代燃料の最新動向

講演時間 41分55秒



トヨタ自動車株式会社
電動化・環境材料技術部
信川 健 氏



2025年度実施内容

- ・日時：2025年6月4日(水) 16:10－17:30
- ・講師：九州大学 副学長・主幹教授/水素エネルギー国際研究センター長
佐々木 一成 様
- ・テーマ：『水素社会実現に向けた展望と水素モビリティへの期待』
- ・参加者：112名

2025年度の振り返り

- ・講演テーマは「大変良い」「良い」を合わせ100%、講演内容・総合評価は97%と高評価であった。
- ・「水素社会推進法」が施行されたタイミングでもあり、具体的な取り組みを推進されている第一人者の講演を多くの参加者が熱心に聴講しており、水素活用の全体像、エネルギー自給の可能性を知れたとの声が多く聞かれた。

2026年度に向けて

- ・総会講演会に即したタイムリーな講演を提供していく。



④ 技術交流会

ねらい：同じ分野の研究・開発に携わっている技術者・研究者の研鑽と相互交流

実施内容：

内容	開催日時	場所	参加者数	開催概要
第1回	7月4日（金） 12:30～19:30	刈谷市総合文化センター	講師4名 参加者26名	・テーマ 「解体・組立を考慮した設計・プロセスについて語ろう」
第2回	2026年 1月30日（金） 12:30～19:30	刈谷市総合文化センター	講師4名 参加者30名	・テーマ 「サーキュラーエコノミーに関わる資源の再生・循環について語ろう」

・実施内容

- ①事前Webアンケート（記名で回答：本会への期待と質問、討議希望の講師名）を実施
- ②講演（50分×講師4名：大学、企業から設定テーマに関わる各分野の第1人者を招聘して講演を依頼）
- ③全体討議（90分：事前アンケートの期待と質問に講師・参加者がコメント）
- ④懇親会（120分：懇親会場にて講師、参加者、スタッフ参加の相互交流）



2025年度の振り返り～アンケート結果から：

- ★第1回コメント：アカデミアと産業の多角的な話題設定は有意義。
- ★第2回コメント：聴講だけでなく、対話のできる会で大変有益。



2026年度より：

この形式での交流会は1月末の年1回、7月(26年度は6月)は参加者との相互交流の機能を加えた研究発表会と統合。

ねらい

会員の人材育成，および技術者研鑽を狙いとして開催。

技術者や研究者が，本部大会や他学会へ踏み出す第一歩とし，公の場で発表する経験を積む機会を提供。

概要

中部支部研究発表会を「人とするまのテクノロジー展2025 NAGOYA」に合わせて開催（7月17日）

今回新たに，発表者と来場者との交流会を試行（対象をC6ブロックに限定）

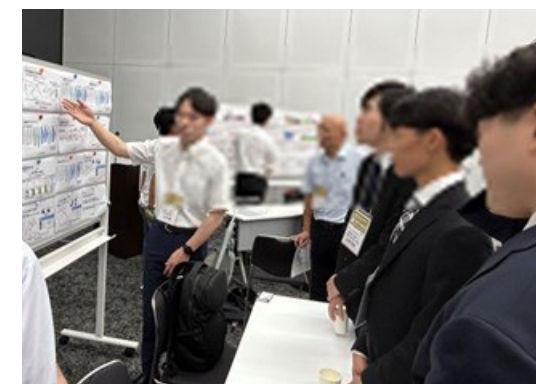
<発表会構成> 全18件

第1会場 -L5-	件数	第2会場 -L6-	件数
A5. パワートレイン	3	A6. 材料	3
B5. パワートレイン / 環境	2	B6. 材料・CN/CE	2
C5. 安全・社会実装	3	C6. フリー(人間工学・流体・騒音)	5

< 研究発表会 >



< 技術者交流会 >



2025年度の振り返り

試行した交流会は，発表者/来場者ともに好評。運営の課題を整理し，今後の対応を立案。継続している事前レクチャーは発表者から好評。

2026年度に向けて

交流会を正式な併催行事として研究発表会に取り入れる。

⑥ 体験型講習会

概要

- ・日常では経験できない「危険と限界」を専用コースで安全に体験。ABSやVSCに頼らない安全運転の重要性を再認識する。

2025年度実施内容（中部支部と関東支部の共催）

- ・日時：2025年10月30日(木) 10:00 – 17:00
- ・場所：トヨタ交通安全センター モビリティ（富士スピードウェイ内）
- ・参加費：会員 ¥5,000、入会サポート対象者 無料（5名が利用）
- ・参加者：20社24名(満席)
- ・講習内容：新メニューを追加（飲酒運転疑似体験、緊急危険回避）

2025年度の振り返り

- ・会場費用の値上げにより、参加費を増額したが申込みが減ることはなかった。
- ・関東支部共催としたことで、予想以上の申込みがあり、中部支部会員の参加要望に充分応えられなかった。

2026年度に向けて

- ・中部支部単独開催とし、支部会員を優先することで参加機会の確保を図る。
- ・四駆オフロード体験会を追加し、新たな体験の機会を提供する。



2025年度実施結果

内容	開催日時	場所	参加者数	開催概要
若手技術者懇談会	7月18日(金) 9:30~17:00	SkyExpo	15社 26名	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ 「その先のテクノロジーに触れ、仲間と共感し、自分たちで未来を描こう！」 ・人とするまのテクノロジー展NAGOYA会場にて、展示会見学を交えグループ討議を実施。 ・Techno Revolutions LLC CEO 加藤喜昭氏講師による講演会を開催。
中堅技術者懇談会	11月14日(金) 9:45~17:00	ウインクあいち	14社 24名	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ 「エンジニアとして大切にすべき心~これまでの経験、葛藤を語り合い、今後に活かす~」 ・「自身で何ができるか、組織をどう変えていくか」「どう成長していきたいか」の観点でグループ懇談を実施。 ・Techno Revolutions LLC CEO 加藤喜昭氏講師による講演会を開催
女性懇談会	2026年 2月13日(金) 10:00~16:30	Lucy's CAFÉ & DINING	8社 21名	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ 「わたしらしく働くために」 ・技術者に限定せず、広く参加者を募集。3つのテーマでのグループワーク、女性アドバイザーと担当理事によるパネルディスカッションを実施。 ・(株)豊田自動織機社外取締役 清水季子様による講演会を開催。

振り返り、課題

- ・女性懇談会は応募が殺到した
- ・参加満足度は高い
- ・引き続き、同様の形式での開催を検討していく



前号 (97号) '25.9. 24 発行



特集「英知の芽」

動物や昆虫などの自然界、先人が発明した原理や法則、世代を超えて受け継がれてきた知識や技術、これらが着想のヒントとなり生まれた製品や未来を切り拓く技術につながる事例を紹介

後号 (98号) '26.1.30 発行



特集「逆転の発想」

常識や慣習にとらわれず、当たり前を疑い、本質を理解したうえで視点を反転させてみることで、思いがけない発見や革新が生まれることがあり、その視点から生まれた新たな価値や解決策の事例を紹介

【2025年度の振り返り】

- メルマガからのワンクリック閲覧（期間限定）による効果は引き続き大きい。
- 全国配信のため広く閲覧されている傾向
- アンケート結果は良好。コメントもほぼ好意的。
- 広告収入は減少傾向

【2026年度に向けて】

- 閲覧数や広告収入のアップに向けた対策検討（最新号のみ広報誌として会員外にも公開（案））
- 自動車に限らない幅広く分かり易い情報提供を継続

● 実施行事

行事	頻度	内容・狙い
学生委員会	5回 (4月、7月、10月、12月、2月)	イベント計画、イベント準備の進捗確認、イベント報告、など
参与会	2回 (4月、10月)	イベント計画確認、イベント報告
安全ミーティング	5回 (4月、7月、10月、12月、2月)	安全意識向上
安全講習会	3回 (5月、12月、2月)	安全のための知識の習得
中部支部試走会	3回 (7月、8月 3日連続、11月)	フォーミュラ車両の走行テスト、翌年の車両開発のためのデータ取得
カート走行会	1回 (2月)	運転技術向上、レースオフィシャルの練習、大学間の交流
交流会	2回 (7月、2月)	学生フォーミュラのチーム運営、静的競技などを題材に議論し、大学間の交流を図る
ものづくりセミナー	1回 (6月)	ものづくりにおける、重要なポイント、楽しさ、難しさを、新入生に体験してもらう
テクニカルセミナー	1回 (11月)	エンジンに関する知識・技術の向上
レーステスト見学会	1回 (2月)	レース関係者と座談会、チームメンバーとしての動きや、レースにおける技術を学ぶ
学術講演会	1回 (3月)	専門家による自動車に関する講演

2025年度の振り返り

- ・ 試走会1回中止（路面状況が悪かったため）以外は予定した行事をすべて実施することができた。
- ・ フォーミュラ試走会は、大会運営の方のご協力もあり、大きなトラブルなく安全に実施することができた。

2026年度に向けて

- ・ 大会1か月前倒しのため、スケジュールがタイトになるが、常に安全を意識してイベントを計画・実施する。

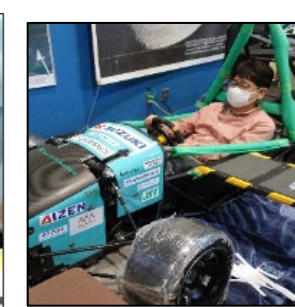
2025年度 開催実績

①ウインドカー組立・改良: **W**、②小型エンジン分解組立: **E**、③ロボットカープログラミング: **R**、④学生フォーミュラカー展示: **F** 人数は参加した子供の数 **〇**は親子教室

回	開催日	開催場所		状況	W	E	R	F	
第1回	4月20日(日)	岐阜県先端科学技術体験センター	岐阜県瑞浪市	開催終了	15名	17名	-	78名 岐阜大	110名
第2回	5月10日(土)	こまつの杜 ①	石川県小松市	開催終了	-	8名	8名	-	16名
第3回	6月8日(日)	こまつの杜 ②	石川県小松市	開催終了	-	8名	8名	-	16名
第4回	7月5日(土)	四日市公害と環境未来館	三重県四日市市	開催終了	22名	10名	-	-	32名
第5回	8月1日(金) 2日(土)	キッズエンジニア Aichi Sky Expo	愛知県常滑市	開催終了	71名	-	-	-	71名
第6回	9月28日(日)	みえ こどもの城	三重県松阪市	開催終了	-	15名	16名	-	31名
第7回	10月26日(日)	福井県児童科学館	福井県坂井市	開催終了	20名	14名	-	80名 福井大	114名
第8回	11月9日(日)	富山市科学博物館	富山県富山市	開催終了	-	27名	-	91名 富山大	118名
第9回	1月18日(日)	焼津天文科学館	静岡県焼津市	開催終了	-	16名	-	80名 静岡理工科大	96名
					128名	115名	32名	329名	604名

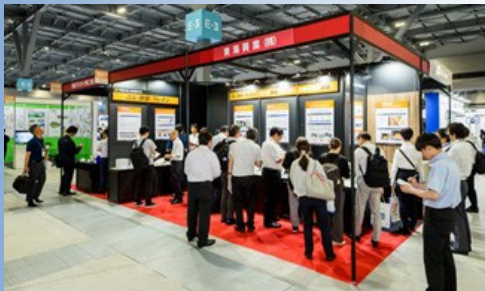
2025年度の振り返りと今後

- ・2024年に引き続き 年間約600名の子供が参加。
親子参加教室が増え、親子の触れ合いの場を提供。
- ・参加者/保護者の評価は高く、継続開催希望の声多数。



①ウインドカー組立・改良 ②小型エンジン分解組立 ③ロボットカープログラミング ④学生フォーミュラカー展示:

2025年度の振り返り



【中部地域での新たな仲間づくり】をテーマに掲げ、

各社が自社の強みや独自技術をアピールできる場として「中部支部エリア企画」を実施。

- ・募集目標10社に対し、企画に賛同いただいた15社の出展を達成。
- ・個別出展企業8社のうち5社が、将来的に通常ブースでの出展を検討中。
- ・中部支部エリア企画の認知度向上。（15社中14社が人テク展初出展）



○広報活動

- ・ターゲットを「会員向け」の視点から「会員外」の方にも興味を持ってもらえるポスターへと刷新。
- ・中部支部の活動内容や取り組みを、訪問・情報提供・イベント案内など複数の手段を組み合わせることで広報活動を実施した。新規団体へのアプローチと既存団体へのフォローを並行して行うことで、関係性の維持と認知向上に努めた。

2026年度に向けて

- ・「魅力を伝える」という視点で進めてきた広報活動については一定の成果が得られたと判断し、来年度はさらに幅を広げた取り組みへ進む。
- ・新たな団体との接点づくりを強化し、中部支部の活動そのものへの関心を高める多様なアプローチを展開する。また、これまでにつながりを築いてきた団体に対しても継続的にフォローを行い、長期的に中部支部の活動を認知・理解してもらえるよう広報活動を継続する。

狙い 知識の幅を広げ、関連団体との連携を深めることで、会員サービスの向上を図る。

団体	回数	関係	内容
あいちITSワールド	1	後援	展示会1
IEEE名古屋支部	1	協賛	講習会1
高分子学会東海支部	2	協賛	シンポジウム1, 講習会1
色材協会中部支部	3	協賛	セミナー2、講座1
Japan Mobility Show Nagoya実行委員会	1	後援	展示会1
精密工学会東海支部	1	協賛	講習会1
東海地区信用金庫協会	1	後援	展示会1
日本機械学会東海支部	3	協賛	講演会1, 講習会2
日本交通医学工学研究会	1	協賛	学術総会1
日本設計工学会東海支部	7	協賛	講演会1, 講習会3, 見学会2、フォーラム1
日本塑性加工学会東海支部	5	協賛	セミナー2、見学会2、懇談会1
長野県産業振興機構	1	共催	展示会1
名古屋市工業研究所	3	協賛	講演会3
合計	30		

実施内容 他学会および団体等の13機関、30事業に協賛、後援、共催協力。（上表は25年度実績）

2026年度への取組み 会員サービスおよび自動車業界発展のため、関連団体と連携する。

議案 2. 2025年度 支部会計決算報告

(2025年4月1日～2026年3月31日)

単位:円(除消費税)

科 目		2025年度 予算(a)	2025年度 決算(b)	差額 (b)-(a)
収入	当期収入合計(A) 交付金+事業収入	23,559,000	24,572,676	1,013,676
	前期繰越収支差額	7,279,394	7,279,394	0
	収入合計(B)	30,838,394	31,852,070	1,013,676
支出	事業費	26,625,000	26,302,950	▲ 322,050
	当期支出合計(C)	26,625,000	26,302,950	▲ 322,050
当期収支差額 (A)-(C)		▲ 3,066,000	▲ 1,730,274	1,335,726
次期繰越収支差額 (B)-(C)		4,213,394	5,549,120	1,335,726

2025年度 支部会計決算報告

■収入

科目	行番号	2025年度 予算	2026年3月 累計			備考 (差額の主な要因)
			予算(a)	決算(b)	差額(b-a)	
収入						
1. 交付金	1	12,081,000	12,081,000	12,081,000	0	
(1)本部交付金	2	10,281,000	10,281,000	10,281,000	0	
(2)特別交付金	3	1,800,000	1,800,000	1,800,000	0	
2. 事業収入	4	11,478,000	11,478,000	12,454,681	976,681	
(1)支部通常総会	5	810,000	810,000	727,275	▲ 82,725	
(2)講習会・交流会	6	518,000	518,000	1,119,812	601,812	
a)第1・4回技術講習会	7	0	0	373,638	373,638	参加費計上(会員無料、非会員1万円)
b)第2・5回技術講習会	8	200,000	200,000	261,635	61,635	
c)第3回技術講習会	9	0	0	148,182	148,182	参加費計上(会員無料、非会員1万円)
d)技術交流会	10	318,000	318,000	336,357	18,357	
(3)技術者懇談会	11	130,000	130,000	181,543	51,543	
(4)体験型講習会	12	0	0	28,180	28,180	
(5)見学会	13	390,000	390,000	391,051	1,051	
(6)支部報刊行	14	5,750,000	5,750,000	5,110,000	▲ 640,000	広告収入減
(7)学生関連	15	550,000	550,000	487,820	▲ 62,180	
a)学自研	16	150,000	150,000	151,454	1,454	
b)中部学生フォーミュラ	17	400,000	400,000	336,366	▲ 63,634	
(8)新技術領域の取組	18	3,330,000	3,330,000	4,409,000	1,079,000	人デク展名古屋 中部支部企画展示出展料増(10コマ→15コマ)
3. 雑収入	19	0	0	36,995	36,995	
当期収入合計(A) 1~3の合計	20	23,559,000	23,559,000	24,572,676	1,013,676	
4. 前期繰越収支差額	21	7,279,394	7,279,394	7,279,394	0	
収入合計(B)	22	30,838,394	30,838,394	31,852,070	1,013,676	

別紙4(P7)を参照

2025年度 支部会計決算報告

■支出

	科目	行番号	2025年度	2026年3月 累計			備考 (差額の主な要因)
			予算	予算(a)	決算(b)	差額(b-a)	
支出	1. 事業費	23	26,625,000	26,625,000	26,302,950	▲ 322,050	
	(1)支部通常総会	24	2,040,000	2,040,000	2,145,868	105,868	
	(2)講習会・交流会	25	3,412,000	3,412,000	2,878,400	▲ 533,600	
	a)第1・4回技術講習会	26	724,000	724,000	640,383	▲ 83,617	
	b)第2・5回技術講習会	27	878,000	878,000	836,796	▲ 41,204	
	c)第3回技術講習会	28	1,125,000	1,125,000	829,039	▲ 295,961	オンライン費用減(ライブ配信から録画配信に変更)
	d)技術交流会	29	685,000	685,000	572,182	▲ 112,818	
	(3)技術者懇談会	30	864,000	864,000	724,499	▲ 139,501	
	(4)体験型講習会	31	543,000	543,000	370,083	▲ 172,917	関東支部と共催のため費用は按分
	(5)見学会	32	1,358,000	1,358,000	1,368,122	10,122	
	(6)研究発表会	33	142,000	142,000	116,211	▲ 25,789	
	(7)支部報刊行	34	5,748,000	5,748,000	5,531,248	▲ 216,752	校正費減(回数減)
	(8)社会貢献活動	35	2,372,000	2,372,000	2,139,749	▲ 232,251	宅配料減、アルバイト費用減
	(9)学生関連	36	1,654,000	1,654,000	2,026,400	372,400	
	a)学自研	37	704,000	704,000	477,326	▲ 226,674	交通費減
	b)中部学生フォーミュラ	38	950,000	950,000	1,549,074	599,074	試走会回数増
	(10)新技術領域の取組	39	4,790,000	4,790,000	4,192,223	▲ 597,777	人テク展中部支部企画展示装飾費減
	(11)会員関連	40	612,000	612,000	1,415,037	803,037	モビリティショー名古屋出展に伴う費用増
	(12)役員会	41	1,803,000	1,803,000	1,992,119	189,119	
	a)夏季役員会	42	716,000	716,000	882,735	166,735	
	b)新年役員会	43	787,000	787,000	789,132	2,132	
	c)春季役員会・秋季役員会	44	200,000	200,000	158,610	▲ 41,390	
	d)担当幹事会	45	100,000	100,000	161,642	61,642	
	(13)共通	46	1,287,000	1,287,000	1,402,991	115,991	
	当期支出合計(C)	47	26,625,000	26,625,000	26,302,950	▲ 322,050	
	当期収支差額(A) - (C)	48	▲ 3,066,000	▲ 3,066,000	▲ 1,730,274	1,335,726	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	49	4,213,394	4,213,394	5,549,120	1,335,726	

別紙4(P7)を参照

<収支改善 主な事業>

- ① 新技術領域の取組 ➡ 中部支部企画展示出展料増（10コマ→15コマ）
- ② 第3回技術講習会 ➡ 参加料収入増（非会員参加者増）
- ③ 第1,4回技術講習会 ➡ オンライン費用減（ライブ配信から録画配信に変更）


<収支悪化 主な事業>

- ① 会員関連 ➡ モビリティショー名古屋出展に伴う費用増
- ② 学生フォーミュラ ➡ 試走会開催数増
- ③ 支部報刊行 ➡ 広告収入減

<繰越金額の推移>

24年度末

25年度末

・繰越金は、7,279,394円 ➡ 5,549,120円 に減少（173万減） 

◆公益法人に求められる財務三要件の達成状況


三要件、全て達成

要件	内容	25年度決算
①公益事業比率	公益目的事業にかかる費用の全費用に占める割合が50%以上であること	56%
②収支相償	公益目的事業に係る収入が、その実施に要する適正な費用を償う額を超えないこと	条件を満たす 7,166,952 < 14,677,386 (単位：円)
③遊休財産額 保有制限	遊休財産の額が公益目的事業にかかる費用を超えないこと（100%以下）	38%

監査報告

2025年度事業および会計の監査を2026年4月23日（木）に行った結果、
いずれも適正かつ正確であることを認めます。

2026年 4月 23日

監査役 楠 隆博 

監査役 山 田 潤 

1. 理事候補者(1)

(敬称略)

団体名	氏名	団体名	氏名	団体名	氏名
愛三工業(株)	此原 弘和	(独)産業技術総合研究所	千野 靖正	大豊工業(株)	加納 知広
(株)アイシン	筒井 洋	(株)ジェイテクト	村田 正博	(株)ダッド	西田 淳造
(株)アイシン	大川 明美	静岡理工科大学	野崎 孝志	(株)デンソー	杉戸 克彦
(株)アイシン	磯谷 明	ジヤトコ(株)	斎藤 寿	(株)デンソー	伊藤 みほ
アイシン高丘(株)	山田 昌史	スズキ(株)	角野 卓	(株)デンソー	山本 浩孝
愛知機械工業(株)	犬飼 政博	スズキ(株)	市野 一夫	デンソーテクノ(株)	杉山 宏
(株)アドヴィックス	近藤 功一	スズキ(株)	伊勢 敬	(株)東海理化	長倉 寿典
臼井国際産業(株)	林 耕一	(株)S O K E N	杉浦 慎也	豊田合成(株)	池田 富栄
(株)トヨタコンポン研究所	渡部 浩康	大同メタル工業(株)	吉田 有宏	トヨタ自動車(株)	海田 啓司

全体は別紙5(P8~11)を参照

理事候補者(2)

(敬称略)

団体名	氏名	団体名	氏名	団体名	氏名
トヨタ自動車(株)	加古 慈	トヨタテクニカルディベロップメント(株)	舟橋 陽一	三重大学	池浦 良淳
トヨタ自動車(株)	則包 壮大	トヨタ紡織(株)	角田 浩樹	三菱自動車工業(株)	澤瀬 薫
トヨタ自動車東日本(株)	阿部 利光	トヨタ紡織(株)	加藤 麻美	三菱自動車工業(株)	塩崎 弘隆
(株)豊田自動織機	熊澤 聡太郎	豊橋技術科学大学	安部 洋平	三菱自動車エンジニアリング(株)	峰 和生
トヨタ車体(株)	黒柳 輝治	名古屋大学	青木 宏文	名城大学	中島 公平
トヨタ車体(株)	竹中 保則	日本特殊陶業(株)	平澤 真	矢崎総業(株)	古田 一臣
(株)豊田中央研究所	長井 康貴	本田技研工業(株) 鈴鹿製作所	畑中 康宏	ヤマハ発動機(株)	木下 拓也

全体は別紙5(P8~11)を参照

2. 監査役

(敬称略)

氏名	団体名	退任者
楠 隆博	元 大豊工業(株)	留任
山田 潤	(株)SOKEN	留任

全体は別紙5(P11)を参照

1. 2025年度 支部事業報告
2. 2025年度 支部会計決算報告
3. 2025年度 支部事業および会計監査報告
4. 2026・2027年度 支部役員
- 5. 2026年度 支部方針および事業計画**
6. 2026年度 支部予算

1. 支部方針

2. 組織

3. 支部役員会日程

4. 事業計画*

* <事業計画>

事業計画（全体）

支部通常総会 および 併催行事

① 見学会

② 講演会

③ 技術交流会

④ 体験型講習会

⑤ 技術者懇談会

⑥ 支部報前号・後号編集

⑦ 学生自動車研究会

⑧ 社会貢献

⑨ 新連携創生

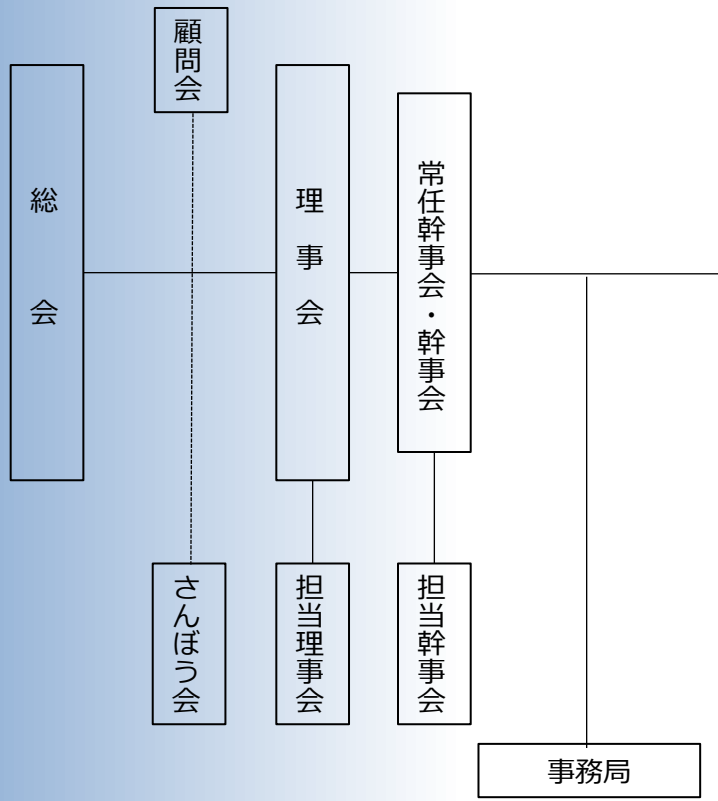
⑩ 広報活動

会員数最大規模の中部支部は、主に所属会員の皆さんや中部支部エリアの皆さんに向け、様々な事業活動を行い、技術交流や情報共有、人づくりの場を提供してきている。

その一方、会員数の維持・増強は大きな課題となっている。そのためには効率的・効果的な活動による魅力ある場作りと、情報発信の改善を継続的に進めていく必要があり、2026年度から組織体制を変更し、より充実した活動を進めて行くこととする。それに伴い、以下3点を重点項目として取り組む。

- **新組織体制のもと今まで以上に企画を充実させ、より質が高く、魅力が感じられる事業の開催を通じ、新たな知見の獲得と相互交流の場、新規入会の機会創出を提供し、会員数の維持・増強に努める。（事業）**
- **本部、他支部との連携をより密にし、中部支部活動を多くの方に知っていただくため、広報活動の一層の改善、充実を進める。（広報）**
- **財務3要件を満たす中で、本質的なサービスを見極め、質は落とさず、リソースを最大限に生かした活動を継続的に実施していく。（財務）**

「ワーキング活動」を廃止、吸収し、組織改編を実施。



・担当幹事会下に「支部長会社6 社会」を継続し、支部のガバナンスを議論する場とする(図には不記載)。

【事業名】	【委員会名】	【実施内容】
【支部運営】	総務・会計	
【技術者育成】	見学会A	(奇数回開催)
	見学会B	(偶数回開催)
	講演会A	(技術講習会、全体とりまとめ、市民公開特別講座)
	講演会B	(技術講習会 [ITSワールド対応]、総会講演会)
	講演会C	(技術講習会 [車両展示タイプ、主に静岡地区]、ミニ講演会)
	体験型講習会	(オンロード、オフロード試乗体験)
	技術交流会	(研究発表会、技術交流会)
	ネットワーキング	(若手・中堅技術者懇談会、女性懇談会。)
【出版】	支部報前号編集	(支部報宙舞前号発刊)
	支部報後号編集	(支部報宙舞後号発刊)
【学生育成】	学生自動車研究会	(学自研活動)
【社会貢献】	社会貢献	(キッズものづくりワンダーランド)
【新連携創生】	新連携創生	(地域連携、新技術領域)

3. 支部役員会日程

2025年度と同様の会議体構成とし、リアル開催とオンライン開催を効果的に使い分ける。

行 事		出 席 対 象	開 催 日 時	開 催 方 法
役員会	済 春季合同役員会 + 懇親会	支部長、担当理事、常任幹事、幹事、監査役	5月18日(月) 15:30~17:15 17:30~19:00	対面 (KKR名古屋)
	夏季合同役員会 + 懇親会	支部長、顧問、理事、常任幹事、幹事、 監査役、さんぼう会、	8月27日(木) 15:30~17:15 17:30~19:00	対面 (ANA金山)
	秋季合同役員会	支部長、担当理事、常任幹事、 担当幹事、監査役	11月25日(水) 14:00~16:00	オンライン
	新年合同役員会 + 新年祝賀パーティー	支部長、顧問、理事、担当理事、常任幹事、幹事、 監査役、さんぼう会、賛助会員	2026年1月21日(木) 15:30~17:15 17:30~19:00	対面 (ANA金山)
	担当幹事会 (年4回)	担当幹事 (担当幹事会社の常任幹事、担当幹事) 13:30~17:00	6月23日(火) 9月8日(火) 11月4日(水) 2026年2月2日(火)	対面+ オンライン
支部通常総会 + 講演会、会員パーティー	支部長、顧問、理事、担当理事、常任幹事、幹事 監査役、さんぼう会、正会員、学生会員	6月10日(水) 15:00~16:00 16:10~17:30 17:45~19:15	対面 (ANA金山)	

2026年度の活動狙い

- 幅広い分野の工場見学及び技術講演を実施し、現地現物で技術動向を提供する事で会員の技術理解・視野拡大を図る。
- 会員メリットの一環として、会員限定のファミリー向け企画を1回開催し、見学会10回と合わせ11回/年 開催。

活動計画：4月から2月までの11回を予定

回数	開催月	見学先	分野
済①	4月	フタバ産業 幸田工場 (4/24開催)	自動車部品
済②	5月	住友電装 四日市製作所 (5/15開催)	自動車部品
③	6月	豊田合成 瀬戸工場 (6/26開催)	自動車部品
④	7月	エア・ウォーター 地球の恵みファーム (7/24開催)	異業種
⑤	8月	JERA 碧南火力発電所 (会員ファミリー向) (8/7開催)	異業種
⑥	9月	トヨタカスタマイジング&ディベロップメント 名古屋工場 (9/18開催)	車体・エンジン

回数	開催月	見学先	分野
⑦	10月	ニチコン 亀岡工場(家庭用蓄電池) (10/2開催)	自動車部品
⑧	11月	トヨタ紡織 猿投工場 (11/20開催)	自動車部品
⑨	12月	日清紡マイクロデバイス 佐賀工場 (12/4開催)	自動車部品
⑩	1月	豊田自動織機 長草工場 (優先枠拡大) (1/22開催)	車体・エンジン
⑪	2月	東レ 名古屋事業場 (2/5開催)	材料

計画内容

- 車体・エンジン:2、自動車部品:6、材料:1、異業種:2と幅広い分野を選定。
- 8月の夏休み期間を利用して、会員ファミリー（小学生）向けのJERA 碧南火力発電所を開催。
- 1月の豊田自動織機は、入会サポート特典（無料化）の優先枠拡大（5名→10名）として開催。
- 多くの方に見学して頂けるよう、見学先様へ定員枠拡大(例:定員20名 →30名、40名)の依頼を継続。

狙い

- 会員の研鑽と視野拡大に貢献することを目的に開催する。
- 幅広い分野からのテーマ選定により多くの参加者を見込む。
- 講演者と参加者が直接交流する機会を設け、講演者と参加者それぞれの満足度向上を図る。

計画内容

済

イベント名	開催月/場所	内容/テーマ
第1回技術講習会	4月17日/浜松	「技術の進化が導く魅力的なクルマづくり」
第2回技術講習会	9月/オンデマンド	(仮)「感覚と挙動がシンクロする 次世代モビリティ制御」
第3回技術講習会	11月/オンデマンド	企画検討中
総会講演会	6月10日/名古屋	「トランペットの開発とは？ ～現代の銘器開発にむけたモノづくり～」
(仮)特別講演会	10月12日～30日 /オンデマンド	企画検討中

2026年度：オンデマンド開催を3回実施予定

2027年度：静岡地区の浜松⇔三島を隔年開催

【ねらい】

講演発表や第一人者の講演聴講・討議の機会を通じて、技術者同士の交流と育成を支援する。

【計画内容】

内容	開催日時	場所	参加者数	開催概要
研究発表会	6月18日(木) 10:00~16:00	Aichi Sky Expo	発表件数 14件	人とくるまのテクノロジー展 2026 NAGOYA」の併催事業として開催 ・講演会場(L6)と交流会場(L5)を併設。 ・L6会場にて講演、L5会場では発表者と参加者(聴講者)との相互交流。 ・希望者に対して、講演の構成・発表に関する事前レクチャーを実施
講演・討議会	2026年1月末 12:30~19:30	刈谷駅 周辺施設 を予定	講師4名 参加者28名	・テーマ 「未定：例) これからのクルマのつくり方について語ろう」 ①テーマに即した講師による講演。 ②全員による全体討議 ③講師や参加者、スタッフ参加の討議と相互交流(懇親会) の3部構成。

④ 体験型講習会

【実施内容】

内容	開催日時	場所	募集数	開催概要
①四駆 オフロード 体験会 (新設)	5月22日 (金)	さなげアド ベンチャー フィールド	36 名	【ねらい】 ・最新本格四輪駆動車の構造・制御・性能を 座学と実演で学び、専用不整地コースの 走破体験を通じて体感する ・非常時の車両からの安全な脱出方法を体験する 【内容】 ・最新の本格四輪駆動車の悪路走破性能を 専用コースで自ら運転して体験。 ・車両横転など、非常時の車両からの安全な 脱出方法も体験
②クルマの 挙動 体験会	(仮) 10月29日 (木)	トヨタ交 通安全 センター モビリティ	24 名	【ねらい】 ・日常では経験できない「危険と限界」を 専用コースで安全に体験する。 【内容】 ・死角確認、運転姿勢、高速フルブレーキング、 低ミュー路ブレーキング、低ミュー路旋回、 緊急危険回避、飲酒運転疑似体験

済



上級コース遊覧体験



低ミュー路ブレーキング体験

ねらい

所属会社、経歴の枠を越えた技術者同士の研鑽と交流による人脈作り、技術者に求められる資質・能力向上の気づきを得る目的で開催。年3回（若手、中堅、女性）を計画。

実施計画

懇談会	開催日・場所	テーマ	募集定員
若手技術者懇談会	26年6月19日（金） 人テク展名古屋会場	その先のテクノロジーに触れ、仲間と共感し、 クルマとモビリティの未来を描こう！	20名 * 若手（25～29歳位） <4/1より募集開始>
中堅技術者懇談会	26年10月30日（金） ウインクあいち	エンジニアとして大切にすべき心 ～これまでの経験、葛藤を語り合い、 今後活かす～	20名 * 中堅（35歳前後）
女性懇談会	(仮) 27年2月12日 (名古屋駅周辺)	わたしらしく働くために	20名

参加者への事後アンケートでは、どの会も非常に高評価のため、基本的な枠組みは25年度を踏襲する予定。技術者同士で議論が更に活発化するテーマを取り入れ、参加者の満足度の高い企画を充実させていく。

概要

目的：会員の幅広い知識、見識の一助となる情報を提供する。

運営：①会員が興味を持てるような特集記事を構成し読みやすく分かりやすい表現にする

②電子化に伴う最適化や効果のあった施策（ワンクリック閲覧など）は踏襲しながら一層のサービス向上を目指す

③収支バランスのとれた活動を進める

	発行	特集テーマ	記事構成	委員会
99号	9月24日	笑顔につなげる	<ul style="list-style-type: none"> ・特集5件 ・シリーズ中部 ・自動車豆知識2件 ・モータースポーツ ・いっぷくしよまい6件 ・支部事業報告 	1月開始 1から2回/月
100号	2026年 1月29日	・検討中。	<ul style="list-style-type: none"> ・取材記事検討中 ・100号記念号としての 記事も考慮 	4月開始 1から2回/月

【ねらい】

- ・ 学生会員の自動車技術への関心を深め、会員相互の親睦をはかる
- ・ 高い安全意識を維持していく
- ・ 大会1か月前倒しに合わせて行事を計画・実施。

【実施内容】

行 事	頻 度	狙 い
学生委員会	5回 (4月、7月、10月、12月、2月)	行事实施報告、行事計画、イベント準備の進捗確認など
参与会	2回 (4月、10月)	行事計画確認、行事報告
安全ミーティング	5回 (4月、7月、10月、12月、2月)	安全意識向上
安全講習会	2回 (5月、2月)	安全のための知識の習得
レース見学会	5回 (4月、5月、10月、11月、2月)	プロのレースチームメンバーとしての動きや、最新のレースにおける技術を学ぶ
中部支部試走会	5回 (6月2回、7月、9月、10月)	フォーミュラ車両の走行テスト、翌年の車両開発のためのデータ取得
交流会	2回 (6月、10月)	学生フォーミュラのチーム運営、静的競技などを題材に議論し、大学間の交流を図る
ものづくりセミナー	1回 (6月)	ものづくりにおける、重要なポイント、楽しさ、難しさを、新入生に体験してもらう
テクニカルセミナー	1回 (12月)	エンジンなどに関する知識・技術の向上
カート走行会	1回 (2月)	運転技術向上、レースオフィシャルの練習、大学間の交流
学術講演会	1回 (3月)	専門家による自動車に関する講演

【ねらい】

モノづくりや創意工夫の楽しさを体験できる学習イベントを開催し、未来の「エンジニア」を育む

【実施内容】

年 9 回開催予定

回	開催日	開催場所		状況	W	E	R	F
第1回	4月19(日)	岐阜県先端科学技術体験センター	岐阜県瑞浪市	確定	-	18名	8名	岐阜大
第2回	5月16日(土)	こまつの杜 ①	石川県小松市	確定	-	24名	-	-
第3回	6月7日(日)	こまつの杜 ②	石川県小松市	確定	-	-	10名	-
第4回	7月4日(土)	四日市公害と環境未来館	三重県四日市市	確定	24名	16名	-	-
第5回	9月27日(日)	みえ こどもの城	三重県松阪市	調整中	-	16名	16名	-
第6回	10月11日(日)	富山市科学博物館	富山県富山市	調整中	-	20名	16名	富山大
第7回	10月24日(土)	福井県児童科学館	福井県坂井市	調整中	16名	16名	-	福井大
第8回	1月17日(日)	焼津天文科学館	静岡県焼津市	調整中	-	16名	-	静岡理工科大
第9回	2月14日(日)	豊橋市こども未来館	愛知県豊橋市	調整中	12名	10名	-	豊橋技科大

①ウインドカー組立・改良: **W**、②小型エンジン分解組立: **E**、③ロボットカープログラミング: **R**、④学生フォーミュラカー展示: **F**

【目的】

新技術領域の従事者の方々に支部活動の有益性を認識して貰うことを第1優先課題とし、人テク展を有効活用して新技術領域の従事者を含めた賛助会員および個人会員の増加を図る

【実施事項】（昨年度からの変更点）

- 【人テク展】展示…出展企業様サポート
- ・来場者への訴求ポイントアドバイス
 - ・中部エリア全体のPRサイト作成

中部エリア応援パック

公益社団法人 自動車技術会 中部支部

賛助会員・会員外一律価格

1小間 363,000円(税込)
2小間 726,000円(税込)

パッケージ内容

- ・出展スペース+ブース基本装飾
- ・オンライン展示会 (ECONOMYプラン)

詳しく見る



【入会促進活動】

人テク展終了後に出席企業様に出展に関する生声収集と賛助会員化または個人会員化促進働きかけのために訪問予定

【2027年度に向けて】

会員にとって新規技術領域の「知」を学ぶ場であり、また交流にて共通課題の解決策を見つけるきっかけのより良い場とすべく、現状の熟成型～新企画と幅広く議論中

【考え方】

支部方針である、

「中部支部活動をより多くの方に知っていただくため、他支部との連携も含め、広報活動のより一層の充実を進める。」

に基づき、他支部・関連団体も含めたイベント情報を、より魅力を感じられる表現方法をもって告知する。

【実施内容】

1. 「中部支部 活動のご紹介」動画の2026年度版作成し、支部HPにて公開。
2. 支部HPはタイムリーに更新、月初の定期メルマガと臨時メルマガを適時配信。
3. メルマガのイベント募集は、より魅力を感じられるよう各委員会と調整し告知。
4. 本部・他支部のイベント情報は、毎月発信の本部「自技会通信」の活用。



支部HPの「活動のご紹介」ページ



魅力を伝えるバナーの作成



本部「自技会通信」の活用

議案 6. 2026年度 支部予算

- ・ 公益法人に求められる財務3 要件である、① 収支相償、② 公益目的事業比率50%以上、③ 遊休財産額の保有制限に対する率100%以内を満たすと共に、事業計画達成に向けたメリハリのある配分を実現した予算を策定。

単位：円(除消費税)

科 目		2025年度 決算(b)	2026年度 予算(c)	差額 (c)-(b)
収入	当期収入合計 (A) 交付金+事業収入	24,572,676	25,125,000	552,324
	前期繰越収支差額	7,279,394	5,549,120	▲ 1,730,274
	収入合計 (B)	31,852,070	30,674,120	▲ 1,177,950
支出	事業費	26,302,950	24,700,000	▲ 1,602,950
	当期支出合計 (C)	26,302,950	24,700,000	▲ 1,602,950
当期収支差額 (A)-(C)		▲ 1,730,274	425,000	2,155,274
次期繰越収支差額 (B)-(C)		5,549,120	5,974,120	425,000

2026年度 支部予算

■収入

科目	行番号	2025年度		2026年度	増減	備考 (差額の主な要因など)
		予算(a)	決算(b)	予算(c)	差額(c)-(b)	
収入						
1. 交付金収入	1	12,081,000	12,081,000	12,780,000	699,000	
(1)本部交付金	2	10,281,000	10,281,000	10,630,000	349,000	会員数増
(2)特別交付金(フォーミュラ試走会)	3	400,000	400,000	500,000	100,000	5日間開催
(3)特別交付金(社会貢献キッズ)	4	1,400,000	1,400,000	900,000	▲ 500,000	9日間開催
(4)特別交付金(体験型講習会)	5	0	0	750,000	750,000	
2. 事業収入	6	11,478,000	12,454,681	12,345,000	▲ 109,681	
(1)支部通常総会	7	810,000	727,275	1,000,000	272,725	
(2)講演会・技術交流会	8	518,000	1,119,812	1,220,000	100,188	
a)講演会A	9	0	148,182	360,000	211,818	3,000円×120名
b)講演会B	10	200,000	261,635	360,000	98,365	3,000円×120名
c)講演会C	11	0	373,638	360,000	▲ 13,638	3,000円×120名
d)技術交流会	12	318,000	336,357	140,000	▲ 196,357	5,000円×28名
(3)ネットワーキング	13	130,000	181,543	300,000	118,457	5,000円×60名
(4)体験型講習会	14	0	28,180	250,000	221,820	5,000円×50名
(5)見学会	15	390,000	391,051	495,000	103,949	3,000円×165名
(6)支部報刊行	16	5,750,000	5,110,000	5,130,000	20,000	
(7)学自研	17	150,000	151,454	150,000	▲ 1,454	
(8)中部学生フォーミュラ	18	400,000	336,366	500,000	163,634	
(9)新連携創生	19	3,330,000	4,409,000	3,300,000	▲ 1,109,000	人テク展名古屋 中部支部企画展示出展料減(10コマ想定)
3. 雑収入	20	0	36,995	0	▲ 36,995	
当期収入合計(A) (1~3の合計)	21	23,559,000	24,572,676	25,125,000	552,324	
4. 前期繰越収支差額	22	7,279,394	7,279,394	5,549,120	▲ 1,730,274	
収入合計(B)	23	30,838,394	31,852,070	30,674,120	▲ 1,177,950	

別紙7(P13)を参照

2026年度 支部予算

■支出

科目	行番号	2025年度		2026年度	増減	備考 (差額の主な要因など)
		予算(a)	決算(b)	予算(c)	差額(c)-(b)	
1. 事業費	24	26,625,000	26,302,950	24,700,000	▲ 1,602,950	
(1)支部通常総会	25	2,040,000	2,145,868	2,186,000	40,132	
(2)講演会・技術交流会	26	3,412,000	2,878,400	2,278,000	▲ 600,400	
a)講演会A	27	1,125,000	829,039	628,000	▲ 201,039	会場費減
b)講演会B	28	878,000	836,796	616,000	▲ 220,796	開催回数減
c)講演会C	29	724,000	640,383	687,000	46,617	
d)技術交流会	30	685,000	572,182	347,000	▲ 225,182	開催回数減
(3)ネットワーキング	31	864,000	724,499	903,000	178,501	会場費増
(4)体験型講習会	32	543,000	370,083	1,169,000	798,917	開催回数増(オフロード体験)
(5)見学会	33	1,358,000	1,368,122	1,463,000	94,878	
(6)研究発表会	34	142,000	116,211	185,000	68,789	
(7)支部報刊行	35	5,748,000	5,531,248	5,379,000	▲ 152,248	
(8)社会貢献活動	36	2,372,000	2,139,749	2,053,000	▲ 86,749	
(9)学自研	37	704,000	477,326	690,000	212,674	交通費増
(10)中部学生フォーミュラ	38	950,000	1,549,074	1,535,000	▲ 14,074	
(11)新連携創生	39	4,790,000	4,192,223	3,300,000	▲ 892,223	人テク展名古屋 中部支部企画展示 ブース製作費減(10コマ想定)
(12)会員関連	40	612,000	1,415,037	833,000	▲ 582,037	モビリティショーの開催は無し
(13)役員会	41	1,803,000	1,992,119	1,626,000	▲ 366,119	
a)夏季役員会	42	716,000	882,735	556,000	▲ 326,735	軽飲食費減
b)新年役員会	43	787,000	789,132	655,000	▲ 134,132	
c)春季役員会・秋季役員会	44	200,000	158,610	315,000	156,390	
d)担当幹事会	45	100,000	161,642	100,000	▲ 61,642	
(14)共通	46	1,287,000	1,402,991	1,100,000	▲ 302,991	消耗品費減
当期支出合計(C)	47	26,625,000	26,302,950	24,700,000	▲ 1,602,950	
当期収支差額(A)-(C)	48	▲ 3,066,000	▲ 1,730,274	425,000	2,155,274	
次期繰越収支差額(B)-(C)	49	4,213,394	5,549,120	5,974,120	425,000	《繰越金合計》

別紙7(P13)を参照

< 収支改善 主な事業 >

- ① 会員関連 → 出展に関わる費用減 (26年度モビリティショー名古屋の開催は無し)
- ② 共通 → 備品購入費減 (事務局備品買い控え)
- ③ 夏季合同役員会 → 軽飲食費負担減 (26年1月に会費の値上げ実施)

< 収支悪化 主な事業 >

- ① 学自研 → 交通費増 (学生委員会を年1回リアル開催)

< 繰越金額の推移 >

25年度末 26年度末

・ 繰越金は、5,549,120円 → **5,974,120円**に増加 (42万増) 

補足：適正繰越金の考え方は、「公益目的事業費－本部交付金」と設定

なお、突然の景気の後退、天変地異などの不測の事態に備え、適正繰越金に加え、その3割程度を保有することは問題ないと考える。⇒**2026年度の適正繰越金は、218万円～284万円**

◆公益法人に求められる財務三要件の達成状況

三要件、全て達成

要件	内容	26年度予算
①公益事業比率	公益目的事業にかかる費用の全費用に占める割合が50%以上であること	61%
②収支相償	公益目的事業に係る収入が、その実施に要する適正な費用を償う額を超えないこと	条件を満たす 7,895,000 < 14,965,000 (単位：円)
③遊休財産額保有制限	遊休財産の額が公益目的事業にかかる費用を超えないこと (100%以下)	40%



公益社団法人 自動車技術会中部支部